8月9日金曜日　8時45分受付開始

9時45分から11時15分

1. セッション５ トイレ・生活環境整備　第2会場　（S302）

座長：松田 雄二

オフィストイレのオールジェンダー利用に関する研究　　　その１　研究の背景とトランスジェンダーに対する意識 　高橋　未樹子（コマニー株式会社）

オフィストイレのオールジェンダー利用に関する研究 その2 オフィストイレの利用満足度要因におけるジェンダー比較 　日野　晶子（株式会社LIXIL）

男女共用トイレに対する学生および留学生の利用者意識 - 公共トイレの男女共用化の可能性に関する研究 その4- 　老田　智美（株式会社NATS環境デザインネットワーク）

住宅改修ニーズを把握する方法に関する研究 ‐ある自治体に申請された理由書を基にして‐ 　西野　亜希子（東京大学）

高齢者の居住安定のための住宅改修に関する研究 －先行配慮リフォーム実施住宅に対するフォローアップ調査－ 　佐藤　克志（日本女子大学）

放課後等デイサービスにおけるカームダウンスペースについて 　牛木　彩子（国際医療福祉大学）

子育て環境としての団地に対する評価と可能性-UR都市機構の都市型・郊外型団地を事例に- 　中馬　亮（日本建築学会）

1. セッション７ 研究発表（特定課題研究）高齢者・障害者の外出支援　第3会場　（S303)

　座長：寺内　義典

オポーネント：高橋儀平

バス乗務員へのコミュニケーション研修を通じた新型固定装置の導入効果 　野下　浩平（特定非営利活動法人豊田ハンディキャブの会）

超高齢社会の交通行動分析に基づく健康まちづくりの交通政策提案 　井ノ口　弘昭（関西大学環境都市工学部）

エイジング・イン・プレイスを支える生活支援に関する研究～外出に関するアンケート結果から～ 　石井　義之（国土交通政策研究所）

　全体ディスカッション　（20分）

1. セッション９ 地域① 第4会場　（S202)

座長：平田 賢典

公共交通機関との接続における空港ターミナルの移動ルートの分かりやすさに関する考察 　原　利明（鹿島建設株式会社）

出発ロビーのデザインによる空港ターミナルの移動ルートの分かりやすさに関する考察 　丹羽　太一（東京大学大学院経済学研究科　REDDY）

高齢者の生活を活性化させる地域の居場所 −アメリカ・カリフォルニア州におけるインタビュー調査− 　福田　菜々（北海道科学大学）

海老名市における8地域の人口分析による地域課題の検討 　武藤　直人（日本大学理工学部）

多機関の活動が融合し限界集落の問題解決をめざす農福連携－伝統野菜を守り新たなつながりをつくる「鈴ヶ沢モデル」－ 　合田　盛人（長野大学）

高齢者居住支援ニーズ推計シートを活用した住宅確保要配慮者の自治体間比較 　阪東　美智子（国立保健医療科学院）

居住支援協議会における連携体制　－「協議会型アプローチ」の実態－ 　佐藤　由美（奈良県立大学）

1. セッション11 移動①　第5会場　（S203)

座長：澤田 大輔

要介護者における入浴介護用ポータブル移乗機器の開発 　李　虎奎（新潟工科大学）

栗山町におけるコミュニティバスの利用・非利用実態と住民意識調査 　長谷川　賢（北星学園大学大学院）

日報記録を用いた地方都市におけるタクシーの利用特性 −静岡県伊東市を対象として− 　西田　慎太郎（日本大学）

住民協働型デマンドタクシーの維持・継続に向けた運行改善 －千葉県市原市の市津地区を例として－ 　藤井　敬宏（日本大学理工学部）

ユニバーサルデザインタクシーの導入意向に関する研究－千葉県の一般タクシー事業者および介護タクシー事業者を対象として－ 　福田　捷樹（日本大学）

過疎地域における移動困難者に関する研究 　北野　知裕（公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団）

知的障害児者の外出機会の拡大に向けた同行者も外出しやすい環境整備に関する研究 　室崎　千重（奈良女子大学）

1. 11時15分から12時45分　ポスターセッション　第6会場（S204） 座長：植田瑞昌

津波ハザードマップの見直しを受けた居住誘導の課題に関する考察 ―高知市を対象としたケーススタディ― 　坂本　淳（高知大学）

強化段ボールを使ったポータブルトイレの開発と被災地での活用に関する研究 　繁成　剛（東洋大学）

高齢者の中心市街地への住み替え意識調査ー香川県高松市をケーススタディとして― 　今岡　芳子（香川高等専門学校）

障害者の地域生活を支える新しい居住形態の実態把握 　糟谷　佐紀（神戸学院大学）

歩道ネットワークデータベース作成法の効率化と応用　〜東京都日野市を例に〜 　石川　剛（株式会社　東京地図研究社）

健康ワークショップ～街歩きのための地図作り～（大阪府豊中市永楽荘地域を対象として） 　三浦　壮（大阪大学大学院）

「障害の社会モデル」に基づいた「心のバリアフリー」研修プログラムの開発 沼尻　恵子（一般財団法人　国土技術研究センター）

受講生属性に配慮した公園緑地バリアフリー講義の実際とその課題 　美濃　伸之（兵庫県立大学大学院）

視覚障害スキーヤーへの援助指針－ブラインドスキー・サポートガイドラインの作成を通して－ 　矢部　健三（神奈川県総合リハビリテーションセンター）

8月9日午前の部　終了

8月9日午後の部に続く　以上